

## 平成 29 年度 ASEAN 向け省エネ支援事業の初回会合を実施しました

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けて、2017年7月27日～28日の2日間、マレーシア・クアラルンプールの初回会合で本年度のAJEEP(ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership) 事業計画・取組み内容等を説明し、ASEAN各国と今年度事業実施内容の討議を行ないました。

- (1) 新スキーム2は、エネルギー管理士育成・判断基準導入に向けた事業として4年計画の2年目を継続実施すること。
- (2) スキーム3は、カンボジア・ラオスを対象にS&Lを含めて継続支援すること。
- (3) ビルディングコードの取り扱いについて提案・決定すること。



オープニングスピーチ（マレーシア・日本・ACE(ASEAN Centre for Energy)）



討議風景



集合写真

今年度のASEANに対する省エネ人材育成支援の具体的な活動実施計画作成のための会議（マレーシア・クアラルンプール）に参加しました。会議にはASEAN各国（2カ国代表は不参加）からASEAN省エネルギー部会（EE&C-SSN）の代表（Focal Point 又はその代理）及びACEが参加し、本年度の実施計画を決定しました。

- (1) スキーム2のエネルギー管理士育成事業内容に関して、初年度の成果について各国から評価され、引き続き2年目としてプログラムの継続が承認されました。
- (2) スキーム3については、省エネ上位法・政策整備における進捗が確認されました。29年度活動は関連諸制度の整備について、責任推進体制の一形態である Technical Working Group（TWG）を対象として、今年度実施事項の明確化および優先順位をつけて実施することを提言し、了承されました。
- (3) ビルディングコードの整備推進については、昨年度はSEforALLのもとで実施してきたが、本年度はAJEEP-ECAP活動の一環として実施することを提案・合意しました。